



# 議会だより

No. 29  
2006 .4月



新生切目川小学校での入学式

## 3月定例議会

- P2 ~ P4.....18年度予算審議・議案審議
- P5 ~ P9.....一般質問（5議員）
- P10 ~ P11.....委員会報告
- P12.....公民館めぐり・あしがき

# 平成18年第1回印南町議会定例会

平成18年第1回印南町議会定例会は3月9日開会し、20日閉会しました。

上程議案は、条例制定4件、条例改正6件、整備計画1件、字の変更1件、町道認定・廃止1件、平成17年度補正予算6件、平成18年度一般・特別会計予算10件の合計29件が上程され、慎重審議の上、全て可決しました。

特別会計の予算は下記のとおりです。

平成18年度当初予算 = 一般会計 44億4,911万4千円 + 特別会計 35億1,813万7千円  
**総額 79億6,725万1千円**

## 特別会計詳細

- 国民健康保健事業……………11億5,131万7千円
- 老人保健事業……………11億4,677万2千円
- 介護保険事業……………6億6,418万4千円
- 印南町簡易水道事業……………2億9,527万3千円
- 美浜町、日高町、由良町及び印南町指導主事共同設置事業……………1,150万円
- 農業集落排水事業……………1億7,047万6千円
- 同和対策新築家屋貸付金……………2,828万1千円
- 印南町宅地造成事業……………4,200万2千円
- 滝ノ岡専用水道事業……………833万2千円

## 議案質疑

### 18年度一般会計予算

国からの交付金、補助金等に関する質問

**Q** 公共土木施設復旧費の国の補助金が1,414万9千円が減額になり、廃目になるそうだが、それに代わるものはできるのか。

**A** 漁港施設災害復旧費の国の負担事業が完成したことの廃目であり、今後も補助負担はある。

**Q** 民生費の県補助金、2,638万2千円が前年度に比べ減額となっているが、その理由は。

**A** 老人医療費の県補助金130万円、隣保館運営費で800万円の減額。人件費に伴う国の補助対象経費の減額が理由です。



町の花：千両

行政全般に関する予算の質問

**Q** 携帯電話基地工事関連の予算が計上されているが、なぜ田ノ垣内地区に建設するようになったのか。

**A** 国に対し格差是正の補助申請を行っていたが、平成18年度、田ノ垣内地区を中心とした整備が図られる見通しになった。

**Q** 千両とわさびに関する事業への町からの交付金が削減されている理由は。

**A** 千両、わさびとも申込みがなかったため。

**Q** 住宅の耐震診断委託料350万円が計上されているが診断後の対応は。

**A** 昭和56年以前に建設された町営住宅の耐震診断で、その後の対応は、まだ具体的な計画はない。



東南海・南海地震に備え、耐震診断を...

**Q** 印南、切目テレビ中継局保守点検料についての説明を。

また、平成22年でデジタル化になるが、印南、切目の中継局も見直しが必要では。

**A** 3年毎の法定点検が33万6千円、通常保守点検が154万3千円です。

デジタル化への対応は放送事業者と当町との協議の上、対応が必要である。

**Q** 要害山への避難道路の整備は今年は150mの中50m分ですが、全長完成するのは。

**A** 幅員は2m。平成18年、19年で計画している。



要害山への避難道が整備される

**Q** 不法投棄ゴミ撤収委託料が昨年より200万円の減額で100万円だが理由は。

**A** 県の補助金がなくなり、町単独の100万円の計上である。

教育に関する予算の質問

**Q** 給食調理室空調設備工事費で、462万円が計上されているが、どの学校の工事か。

**A** 空調設備工事は稲原小、切目川小。切目小も大規模改造とともに空調設備工事をす。稲原西小、真妻小、上洞小はクーラーの設置です。

**Q** 全ての学校に空調設備が整つのはいつになるか。

**A** 確定はしていない。

**Q** 4月から住民課担当の保育園の事務を教育委員会へ移すということだが、予算化の一本化はできるのか、できないのか。

**A** 厚生労働省関係と文部科学省で話し合いをしていかなければならない。

**Q** 18年度から保育園、幼稚園について独自の教育課程、年間指導計画を策定していくということだが、責任の所在は。

**A** ソフト面などは教育委員会が責任を持つが、厚生労働省に関わる内容などは住民課との話し合いが必要である。

**Q** 図書検索システム費として700万円が計上されているが、毎年これだけの費用があるのか、今年だけの費用か。

**A** 図書のネットワークにかかる全体の経費で、17年度から5年間のリース等が含まれている。平成21年でリース料の一部が減額され平成22年以降はリース料はほとんどいらぬ計算になる。

**Q** 公民館のアスベスト除去工事の費用として441万円計上されているが、工事はいつ行い、工事中は公民館を閉鎖するのか。

**A** 6月から7月を考えている。使用については調整中である。

**Q** 6月から7月を考えている。使用については調整中である。

印南町国民保護対策本部の条例制定について

**Q** 国民保護法に基づく、有事の際の避難と自然災害における住民の避難とはどう違うのか。

**A** 自然災害における部分については、局部的といえますが、当町の範囲内での救援になります。武力攻撃につきましては地域を越えた救援、受け入れも広範囲に及ぶ救援体制が必要となります。

**Q** 国民保護法については、なかなか住民のみならず理解できにくいかと思つので、その理解を得るために懇談会を開いて説明すべきではないか。

**A** 組織としては、協議会を設置して、その中でそれらの計画についての検討をしていくことになりま

**Q** 印南町が作成する計画というのは、住民の避難計画の他にどんな計画があるのか。

**A** 印南町の国民保護計画の中身ですが、警報

**A** 印南町の国民保護計画の中身ですが、警報

の伝達、避難実施要領の策定、関係機関との調整、その他住民の避難に関する措置でありまして、内閣総理大臣からの指示があつた場合、その指示を伝達するというところでございます。

**Q** 協議会の委員数20名とありますが、中にはどのような階層の人たちが入るのか。

**A** 行政では海上保安部の職員、県職員では振興局長、保健所長、町では助役、教育長。

その外から消防本部の消防長、御坊警察署長、学識経験者としては議会議長、消防団長、福祉協議会長、区長会会長、JA、漁協、商工会代表等でございます。

**Q** 住民のみならずが一番心配するのは、印南でどんな事態が起こるのかということですか。

**A** 県では攻撃目標と考えられる施設名もすでに上げられているのに印南町ではどうなんですか。

**A** 県の計画を参考にし  
て、対象とするという  
ことはあります。印南の現状  
では、今後検討、研修しなけ  
ればなりません。今、ここで  
申し上げることができません。

### 南谷大型共同作業場 設置条例の一部を改正 する条例について

**Q** 南谷大型共同作業場  
の見直しで、コミュニ  
ティセンターとして位置づけ  
るということですが、他の3  
つの作業場についてはどのよ  
うに考えているのか。

**A** 今後、残っている作  
業場については、現在  
数社から問い合わせがあるの  
で、それらを検討しながら、  
いろんな活用をできないか考  
えています。用途変更が必要  
となれば、厚生労働省に申請  
してまいります。

**Q** このコミュニティーセ  
ンターの管理面はどう  
するのかが。

**A** 南谷大型共同作業場  
は、みずほ会館の近く

にあり、みずほ会館の事業を  
サポートする目的をもち、子  
育て支援、世代間のふれあひ  
の交流の場等に活用していき  
ますので、町が管理すること  
になります。



コミュニティセンターとして生まれかわる大型作業場

### 印南町保健福祉医療費 の支給に関する条例の 一部改正について

**Q** この改正は4月から  
始まる障害者自立支援  
法の成立に伴っての対応だと  
思いますが、特に精神障害者  
がサービスを受ける度に10%  
の負担を追わなければならな  
い。

たくさんの費用がかかり大

変だと思いますが、町の見解  
を聞きたい。

**A** 今回の自立支援法で  
すが、更生医療、育成  
医療についても1割負担とい  
うことです。

また、低所得対策で、一定  
所得以下の中でも低所得1、  
低所得2とか分けられていま  
すので、そんなに高くはなら  
ないだろうと思っています。

**Q** 精神障害者のみなさ  
んが、きちつと充実し  
たサービスを受けて、症状が  
悪化しないために、10%の半  
分を町が助成をしていくとい  
うことは考えられないのか。

**A** 今の自立支援法が限  
りなく介護保険制度に  
近づいています。3年後には  
統合することも考えられます  
ので、今のところ変えること  
は考えていません。



### 平成17年度印南町一般会計補正予算について

**Q** 耐震診断の委託料  
というところで、50件  
の枠を30件まであったこと  
ですが、住民のみなさ  
んへの制度の周知について  
お聞きしたい。

**A** この件については、  
17年度から事業化して  
きました。

住民の皆さんには、広報誌  
で3回、機会を捉えながらこ  
案内してきました。また、区  
長会等におきましても機会が  
あれば何回となく周知  
をしてきております。

実質的には予防が予  
算計上よりも少なくなっ  
たのが実情です。

**Q** 横川小学校の  
統合対策委員会の  
補助金について説明  
いただきたい。

**A** 地元において  
閉校に伴う行  
事、敷地についても校  
舎、プール等の解体工  
事を実施をして地元  
にお返しする予定です。  
今後の土地利用等地  
元で計画されており、



統合によって閉校となり取りこわされる横川小学校

**Q** この350万円の補  
助金は、地元の対策委  
員会の中で自由に使えるお金  
ということか。

**A** 町には、その補助金  
の支出の規程、要綱が  
ございますので、それにそっ  
て支出するものです。



道 修一議員

# 通学バスの有効利用法 4月から2路線運行



「切目川小学校のスクールバス」

質問 清流中学校と、四月から横川小学校と切目川小学校の統合により、2路線の通学バスが運行されます。

登校・下校の2回の運行で、その外は使っていません。予算的に約1千万の費用がかかります。

コミュニティバス等の有効利用についての取り組みを検討してはどうか。

答弁 参考

当町には公共交通バス3路線があり、日裏線については南海バスに440万円の補助をしています。

コミュニティバスについては、町民の意向等も考えなければなりません。今ここで答弁はし兼ねます。

## 情報通信体系の整備は

質問 光ファイバー網、移動体通信網、高速デジタル回線等の情報通信基盤の早期実現について、特にインターネットの光ファイバー網、携帯サービスについて質問します。

答弁 総務課長

電話の局番が42局と43局はNTT西日本(株)のADSLのサービスでインターネットサービスを行っている。

加入戸数が千戸で使用率が6割程度見込めるものを条件として参入された。

44局、45局、46局はこの条件に適合しないと、現在参入されていません。

また、携帯電話サービスでは、18年度で田ノ垣内地区はNTTドコモ関西で着工予定。

川又地区は事業化に向けた要望をNTTと国に行っている。

この2ヶ所が完成すれば町内の難聴地区は、ほぼ解決される。



## テレビ地上波放送のデジタル化 2011年

～ 印南町の対応は ～

町民の声 “じつなるんや”

質問 テレビ受信が平成23年7月から現在のアナログからデジタルに移動する。その対応について、どう考えていますか。

答弁 参考

県、市町村、放送事業者、ケーブルテレビ事業者、近畿総合通信局でデジタル放送推進連絡会を設置している。

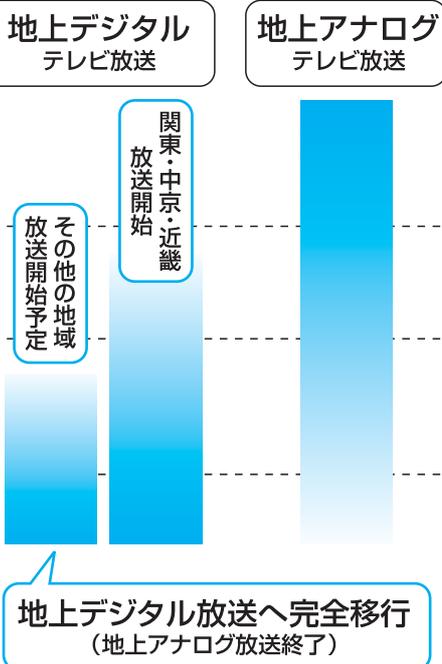
(先般、県のIT推進局情報政策課長が来町され、指導を

受けた)

再質問 日高川町、由良町、日高町の3町でケーブルテレビ事業をZテレビで立ち上げすでに放送を開始している。事業化する場合は、行政の関与がどうしても必要となると思うが、どうか。

答弁 参考

国、県、放送事業者の中で検討していきたい。



デジタル化へのスケジュール



畑中 豊議員

# 新法に基づく市町村合併について

— 一県の合併構想が発表される —

**質問** 県の合併構想が発表され、2月末には、県が関係市町村を回り、合併構想の説明をされています。

**町長**は、この構想についてのよう感じられているか。また、町長は旧法内での合併はしないとされておりましたが、県の構想が示された現状でのお考えはいかがでしょうか。

**答弁** 町長 ます、県の構想についてですが、端的に申し上げます。本構想に示されている1市4町については、今の印南町においてはそのようになるんではなからうかという見方をしております。

先の県の推進審議会でもこのような考えが出ておりましたので、その時点でも、1市4町という考えを感じていた。

**再質問** それでは、県の意見には慎重に検討をとありましたが、すでに合併をされている自治体との合併についてはどうでしょうか。

**答弁** 参事

みなべ町や日高川町との合併については、県の構想にもなく、私も全然考えておりません。

また、県の構想が示された現状での考えですが、現状では住民の目線を考えてと前向きにならざるを得ないという考えです。

**再質問** 前向きにならざるを得ないと考えるのであれば、例えば3月1日で合併した白浜町と日置川町では法定協議会設置後、約2年で合併しています。

町長は、どれくらい必要とお考えでしょうか。

**答弁** 町長

それについては、申しかねます。県の構想が出たばかりで、他の市町村とは、話し合いも全然もっていないのが現状です。

**再々質問** 最後にもう一点お聞きします。私は自治体の大きさと行政能力、手腕というのは別だと思っています。

財政基盤の強化は理解しませんが、しかし、小さな町でも、厳しい行政能力があれば、やっていくことは不可能ではないという実例もあり、大きければ行政能力があるともいえません。

それらを踏まえ、今後、ご検討いただきたく思いますがいかがでしょうか。

**答弁** 町長

町の集中改革プランでも分かるように、財政事情については誠に厳しく、人口の推移を見ても、どうしても合併に移行せざるを得ない状況だと思っております。

## 国民保護法への対応について

**質問** 国民保護法は、平成16年6月に成立、同年9月に施行されていますが、市町村では、平成18年度中に策定となっています。なぜ、このような法律が必要なのか。

**答弁** 参事

今日の国際社会において、弾道ミサイル、大量破壊兵器の拡散や国際テロ組織の存在が脅威となっています。

我が国も武力攻撃等の緊急事態に對処できるように「事態処理法」が成立し、この法律を受けて、国民の生命及び財

産を保護すること等を目的に、国民保護法として立法化されたものです。

平成18年度中に市町村では国民保護計画を策定することになっていきます。

## 役場にエレベーターを

**質問** 町の障害者プランにも必要性をいわれているが、高齢者社会においては是非とも必要と思うが。

**答弁** 参事

これまででも考えてはいるが、耐震、合併の問題で必要性はわかっているが決断にいたっていない。

今から、庁内でもいろいろ相談しながら考えていきたい。



公民館に設置のエレベーター



榎本 敏夫議員

## 高速自動車道サービスエリア 利用客増へ

### オープンPR活動は

**質問** 日高でただ一つの高速自動車道の道の駅的存在となる当町内サービスエリアのオープンには紀南へ訪れたお客様の休憩の場となり、情報交流の場となり、さらには地域連携の場となつて、多く立ち寄つていただけるエリアになつてほしいと思いますが、4月オープンに向けPR活動はいかがでしょう。

**答弁** 総務課長

主体は町でなく、日高観光物産(株)であり、現在すでに販売施設の受託業者も決定しており、会社と受託業者で決めていくことと思います。諸設備は3月中旬に完成し、4月オープンの予定でオープンセレモニーも計画し、そこでもPRしてくれると思います。

また、西日本高速道路(株)のホームページにも掲載していただけるそうです。現在会社で研究中と聞いています。

### 人目を引くサービス エリア名を公募して もらっては

**質問** 地元印南町には全国にその名を知らしめた「かえる

橋」もありますし、古くカツオ節のルーツでは「いなみ」の名が広く知られ、また熊野詣等では切目王子や切目神楽では「切目」の名も有名です。これら等を参考に人目を引き印象に残るサービスエリア名を公募いただければいかがでしょうか。

**答弁** 総務課長

日高観光物産(株)ではすでに名称は決めているということ、「日高観光物産センター」ということでのこととです。

また、販売受託業者もありませんので、受託業者が付ける名前はまた、別としたいと思います。受託業者にお願ひしていきたいと思つてるところです。



完成した日高観光物産センター

### しよくの祭典10年間の経過とこれからは

しよくの祭典10年の年毎のまとめは  
今年はこのように  
お考えか

**質問** かえる橋建設を契機に新たなまちづくりをめざして県内外から観光客を誘致できるイベント「しよくの祭典」を開催することにより、町の特産品、歴史、文化を広くPRするとともに、長期的視野に基づいた民間主導型の地域活性化と産業育成を図ることにより、町活性化の一助にしようとして平成8年から10年間開き続け、年毎に迎えた客数も毎回前年を上回る実績を残してきた10年間のまとめと毎年の評価を次年へいかにつないでこられましたか。

**答弁** 産業課長

町の考えは委員会にも伝え、役員も何回かお集まりいただいたと聞いていますが、結論に至らなかつた。

過去10年間続けた祭典でありませんが、結論に至らず、町の姿勢も大切だということもお聞きしましたし、交流イベントの話も出ていますが、結論が出ていないところで予算計上も見送つたところです。

**答弁** 産業課長

しよくの祭典はまちづくり推進実行委員会の主催でありますので、そのような点で答弁させていただきました。

10年間の開催で町を広くPRし、交流人口も増やし、一定の目的は達成できました。(以下、年毎の経過は省略)



しよくの祭典も幕を閉じる……



西山 徹議員

# 農業振興について～そのPRと交流は～

**質問** 農産物をPRし、販売拡大やブランド化、交流型農業の促進を図っていく上で、「しよくの祭典」による効果は大きかったと思います。今後、これらを促進していくための具体的な取り組みについて伺いたします。

**答弁** 産業課長

「しよくの祭典」は、印南町の情報発信の場として、その効果は大きかったが、新年度は予算計上でできていないが次の展開を考えていきたい。その具体的な方策は、SAを利用していききたい。

**再質問** 「しよくの祭典」10周年の記念事業としての兵庫県稲美町との交流が始まりました。初期の目的が達成されたとして、サービスエリアだけの利用だけでよいのか。

**答弁** 産業課長

農業振興はPRだけでなく、いろいろな施策も行って、イベント交流については難しく、文化交流や住民でやっていただきたい。

## 幼保一元化について



印南町内幼稚園

**質問** 機構改革により、就学前の幼児教育については幼保一元化への対応も含め、教育委員会で行うことにより窓口の一本化がなされました。このことを具体的に進めていくには庁内職員によるプロジェクトチームや住民参加による検討委員会を作っていく必要があると思いますが、どのように考えておられるのか、伺いたします。

**答弁** 教育長

17年度につきましては稲原幼稚園、印南幼稚園について、次世代育成支援行動計画の説明と要望を聞く機会を持ち、18年度については4園の保育園の保護者とも話し合いをしながら考えていきたいと思えます。

そして、そうした施設につきましては、子育ての真っ最中の保護者の皆さんのご意見をもって進めていきたい。

## 小・中学校の統廃合について

**質問** 小・中学校の統廃合について具体的などのように進めていけるのか。

**答弁** 教育長

小学校の統合については複式学級の解消ということから、今は4校を考えている。中学校については、小学校の統合が終わった時点で将来の方向性について考えます。

印南町内小学校生徒数推移表

学校名	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
印南小	184	186	183	199	187	160
稲原小	72	65	62	54	57	44
稲原西小	37	34	35	33	25	18
切目小	117	111	96	92	100	83
切目川小	68	67	67	68	66	57
真妻小	10	8	9	7	6	6
上洞小	15	16	12	11	8	6
計	503	487	464	464	449	374

印南町内中学校生徒数推移表

学校名	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
印南中	99	105	94	90	89	86	94
稲原中	55	53	46	56	49	55	53
切目中	72	81	80	77	59	51	41
清流中	78	71	63	55	51	48	37
計	304	310	283	278	248	240	225
前年比	-13	6	-27	-5	-30	-8	-15



榎本 一平議員

# 乳幼児医療費助成制度の充実を

—全ての世帯が新しい制度を活用できるように—

質問 現在、乳幼児の医療費は通院治療は3才未満、入院治療は6才未満まで助成され無料となっている。

県は10月1日から通院治療の医療費助成の対象年齢を6才まで引き上げるとともに所得制限を盛り込む方向を示しているようだが、町が把握している内容の説明と印南町の対応を求め。

答弁 住民課長

10月1日から乳幼児医療を支給する市町村に予算の範囲内で補助金を交付される。所得制限を設けるようだが、詳細は分からない。

制限の変更については5月上旬までに県から連絡がある。町としては福祉施設の充実は喜ばしい。検討し、対処したい。

再質問 この新しい制度を導入するかもしれないかの判断はいつ頃になるのか。

答弁 住民課長

関連する条例の変更も必要で、6月までに検討が必

要である。

再々質問 町の魅力を高め、若年人口の町外流出を防ぎ、どの世帯も安心して子育てができる、という立場から所得制限がかかる世帯に対しても町が補助を出して、町独自の制度として、全ての世帯がこの制度を活用できるようにしてはどうか。

答弁 住民課長

所得制限の内容については明らかにしておらず、今はそのような対応は考えられない。



この子らに印南の夢を...

## 「快適な生活環境づくり」を前進させるために

—町民が気軽に町内を移動できる手だてを—

質問 当町は高速道路の開通、国道、県道の道路整備が進み、移動手段が車中心となっている現在、快適な環境が整いつつあります。

しかし、その一方で少子・高齢化が進む中で、車中心の社会に対応できずに困っている人達が増加しているのも事実です。

町内の公共の交通網は、JRや民間バスも走っています。が、いろいろな条件もあり、利用は少ない傾向です。

町民からは「もっと移動を気軽にできるように対策を」という声が聞かれます。

「快適な生活環境づくり」の課題で町民の要望、意見を把握するための対策を考えるべきでは。

答弁 総務課長

町民の要望や願いを把握するためのアンケート調査などは考えていない。

再質問 昨年12月「これからどのようなまちづくりをしていくのか」という基本計画（後期）を作成しているが、その中で、住民参加行政の

推進 公聴活動の推進 コミュニティ活動の活発化の3点を強調している。この点からも「快適な生活環境づくり」という課題もしっかり町民の声を聞くべきではないか。

答弁 参事

住民に接することは重要なことだが、要望全てを聞いていくことは困難である。

再々質問 町民が町内を気軽に移動できるように「ミニミニ」タイプの計画はないか。

答弁 参事

現状では困難と考える。



# 「委員会活動報告」

総務文教常任委員会

鈴鹿市コミュニティバス

又視察

鈴鹿市は人口20万人であるが、コミュニティバスを運行しているのは、西部地区（人口約1万6千人）で公共交通バスが廃止された地区で、平成9年度から準備にかかり、平成12年度から実証運行を開始した。



鈴鹿市内を走るコミュニティバス



「プロセスを大切にしたい計画」と、地域に支援された運行方法」に心掛け、基本計画から実施計画、運行・評価・改善までの全てを地元とバス業者、行政が進めた。事業主体は市、運行主体は三重交通、車両は座席数15席、29人乗りがメイン。運行は2路線で1時間に1本で、運賃は最高200円、幼稚園児までは無料、障害者

## 御浜町のまちづくり ―合併しないまち―

御浜町は平成17年国勢調査で人口9,902人となり、人口的にも地形的にも印南町と似ており、農業を基幹産業としている。

当町は、合併せず単独で行政運営していく道を選択した。16年11月から「新しいまちづくりの指針」を作成し、全職員が13チームに編成し、300以上の事務事業の見直しを時間外で100回以上にも及ぶ会議をもって行い、成果を上げるとともに、職員が自信を付けたと発表されていた。

住民参加ということでは、まちづくり懇談会をつくり、6地区で52名の委員を指名し、意見を聞いたとのことであった。

議会に対しては「新しいまちづくりの指針」について全員協議会で説明し、十分疎通を図った。

町民に対しては、出前トーク（御浜トーク）を行い、担当職員が出向いて説明し、町広報誌では「まちづくりの指針」について10回連続で掲載した。

情報開示を重要視し、インターネットも30%接続されており（町はケーブルテレビ回

線をすでに設置しており無料で各戸に配布している）、情報の共有が進んでいる。行政と議会、住民のトライアングルが実行され、活力創成されていると感じた。今後交流を深めていきたいと思う。



印南町長期総合計画

## 厚生常任委員会

### 「下水道整備基本構想」の見直しを問う

2月2日、生活環境課より説明を受け、質疑応答を行いました。

#### 説明概略

全町の、農業集落排水区域8地区、浄化槽区域13地区、特定公共下水道区域2地区の構想。

農業集落排水で山口、古井地区が昨年6月に供用を開始。宮ノ前、古屋地区は本年度から着手する予定。

#### 質疑応答

Q 構想年次が17年～37年と

なっているが、平成37年に供用開始できる見通しか。A 人口動向など環境の変化を予測する20年間ということ、事業完成年度が37年ということではない。

Q 以前、印南地区で下水道の話があつたが。

A 当時、基本構想を策定していたのが農業集落排水該当地区だけで、印南地区に基本構想がなかった。それを契機に今回町全体の下水道整備基本構想を策定した。

Q 郡内では、なぜ印南町だけが遅れているのか。

A 町により状況が異なり、飛地のような公共事業を相対的に行ってきた。印南町は下水道に関し遅れているが、山口、古井、宮ノ前と順次取り組んでいる。

Q 印南地区や切目地区の地元説明はいつか。

A 両地区とも特定環境保全事業になり大掛かりになる。事業費だけでなく、維持管理費を含め、今後の町の財政状況を考えながら進めていかなければならないので、農業集落排水で5地区程度取り組み、加入状況も含め、諸事情を考慮しながら進めたい。説明に行けば即、実施という誤解を受

ける可能性があるため、今のところ地元説明の予定はない。



委員会会議風景

委員会としては、財政事情に関して、どの町村もそれなりの事情がある中で事業を行っているはずなので、当町も早急に進めてもらいたいというところ、変更のある際の連絡を求めて委員会を閉じました。

### 産業建設常任委員会

当委員会は、去る2月27日・28日北山村と串本町の2町村で研修。

### 全国へ発信！ジャバラと観光筏「北山村」

北山村の特産品である「ジャバラ」をいかにブランド化したか。きつかけや体制、行政と住民の役割、加工場や栽培現場等、つぶさに見学する

ことが出来、全容が把握できたように思います。

当村は和歌山県でありながら三重県、奈良県と隣接。和歌山県のどの町村とも隣接しない特殊な位置にあり、山また山を越えダム沿いにひらけた北山村販売センター（役場観光産業課担当店舗）に立ち寄りながら村役場にて村長はじめ議長、担当課長等、多くの方々が、私たちの研修をサポートしていただき、大変有意義な研修となりました。

この村を特徴づけられるのは高齢化率43%、人口548人（1月現在）と少人数。過疎地の村ながら全国的に見ても希な特色ある行政をやっておられることです。

昔から自生している「ジャバラ」を飛び地、過疎地という不便さを逆手にとって総合ショッピングセンター販売に取り組み、専門分野の先生方のお墨付きと加えて花粉症に効果があるといわれるようになり、たちまち全国的に知れるところとなり、うれしい悲鳴。

関連従業員35名、8haの果樹園に7,000本、この内6haが村管理にて栽培しているという。

また、観光にも力を注いで

いる点の特徴づけられる。歴史的には木材を新宮まで出荷するための筏流しも林業の衰退、ダム建設等の移り変わりに、これを観光筏に切り替え、その担い手は都会から公募、これらの若者に「ジャバラ」の管理もやってもらっているとのこと、加えてケープルテレビを昭和63年度から取り組み、行政と村民がまさに密着した、ひらかれた行政として取り組んでおり、印南町もこれら大いに参考すべきで北山村はジャバラなら印南町にもこれ同等の品目があるはずと、痛感した次第であります。



北山村のジャバラ園

### 行政と住民が一体となつて防災対策「串本町

翌2日目は串本町役場にて、近づく南海・東南海地震や津波対策について研修を実施。これまた印南町にとつても早急で関心の高い中身で大いに参考となり、これからの防災計画に役立つものと思われま。

串本町は昨年4月1日付で、古座町と合併。防災については特に関心高く、津波に対する避難タワー建設や避難路整備事業、これは住民が枕木を再利用して津波避難路をつくつたり、行政に対して強い突き上げや協力が大であること。

自主防災組織も28組織あり、防災マップの作成、防災行政無線屋外局設置、避難場所104ヶ所を指定し訓練等も再々実施、津波避難ビル7ヶ所を指定、これは役場、学校や民間ビルと覚書を交わして避難できるようになっている。



串本町：避難道

また、ブロック掘除去に補助を出したり、木造耐震診断に補助等、年毎にこれらの充実を図っているという。

逃げる対策（ソフト）防ぐ対策（ハード）両面にわたり、実現性のある具体的な対策を検討しており、海岸国道沿いの頑質なブロックの堤の現場を見学させていただき、住民と行政が一体となつて防災に取り組んでいる様子が伺え、当町にとつてもやる気の必要性がひしひしと感じ、有意義な研修でありました。

### 請願第1号（採択）

## 幼保一元化施設早期建設についての請願書

総務文教常任委員会に付託された本請願について、審査した結果、願意妥当であり、請願採択として、今議会において総務文教常任委員長から報告があり、全議員賛成で、採択されました。

印南町内には5つの公民館分館がありますが、それぞれの地域で特色ある活動を続けています。今回は、その3として、「切目川分館」の活動等をご紹介します。



切目川分館長  
龍田 信一

## 切目川分館活動に携わって

切目川分館では、町公民館事業の重点目標である「読み聞かせ等の読書活動」「食育に関する体験活動」「歴史文化の発掘と継承活動」を柱にして区長さんをはじめ、20名あまりの運営委員で切目川らしいまた、長続きする活動を目指しています。

## 読み聞かせ事業 (おはなし会)

子ども達が本に親しみ、心豊かに育ってもらうために、「毎週土・日曜日講座」を3地区(古屋・榎川・古井)で行っています。読み聞かせボランティアの方々には大変ご苦労をかけていますが、今では子ども達も楽しみにしています。

## 「食育」と歴史講座

切目川地域は農業が盛んで米、野菜、果樹の収穫の喜び、それを食するありがたさを地域のみなさんと学ぼうと計画しております。そして同時にふるさと地域めぐり「ふるさと歴史講座」と兼ねて実施したいと思っておりますのでご協力お願いいたします。

## 美化活動花いっぱい運動・親子空き缶拾い

地域の環境美化を促進するために美里・古井・榎川・宮ノ前の4ヶ所にパンジー苗600本を親子で定植してもらっています。その他、夏休みにはいると親子で空き缶拾いを実施しています。

## 三世交代交流ゲートボール大会

区長さんをはじめ、体育役員、ゲートボール協会の皆さんのおかげで140名(22チーム)の参加を得て盛

大に開催することができました。

## さわやか健康体操

中高年者の健康増進のため実施しています。平成18年も予定しています。

地域交流「清流夏祭り」は地元若者達を中心に地域の皆さんの協力を得て、盛大に実施できました。

今後とも、切目川公民館活動にご協力お願いいたします。



切目川分館活動の様子

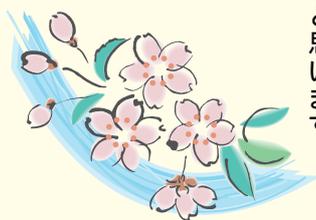


## あこがき

春といえば、卒業、入学、就職と人生の節目の季節でもあり、実に忙しい。

今回の議会だよりは平成18年度の当初予算を中心に編集。「集中改革プラン」に見る町の将来計画にも幅広い町民の声をお聞かせ下さい。

一段と厳しくなる財政状況の中で、合併も含め正念場にかかっていると思えます。



議会広報特別委員会  
委員長 榎本 一平  
副委員長 畑中 良昭  
委員 藤本 晴生  
堀口 徹  
西山 長平  
谷井